

平成30年7月期（平成30年1月17日～平成30年7月16日）決算短信

平成30年8月24日

ファンド名 MAX I Sトピックスリスクコントロール（5%）上場投信 上場取引所 東証
 コード番号 1567
 連動対象指標 S & P / J P X リスク・コントロール指数（5%）
 主要投資資産 投資信託証券
 売買単位 10口
 管理会社 三菱UFJ国際投信株式会社 URL <https://www.am.mufg.jp/>
 代表者名 取締役社長 松田 通
 問合せ先責任者 商品ディスクロージャー部 宇野 誠朗 TEL (03)6250-4910

有価証券報告書提出予定日 平成30年10月15日
 分配金支払開始予定日 平成30年8月24日

I ファンドの運用状況

1. 平成30年7月期の運用状況（平成30年1月17日～平成30年7月16日）

(1) 資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 （負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成30年7月期	14	(99.8)	—	(0.2)	14	(100.0)
平成30年1月期	15	(100.0)	—	(0.0)	15	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成30年7月期	12	—	1	11
平成30年1月期	19	—	7	12

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当たり基準価額 ((③/当計算期間末発行済口数)×100)
	百万円	百万円	百万円	円
平成30年7月期	14	—	14	128,006
平成30年1月期	16	—	15	132,905

(4) 分配金

	10口当たり分配金
	円
平成30年7月期	11
平成30年1月期	22

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

II 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第 12 期 [平成 30 年 1 月 16 日現在]	第 13 期 [平成 30 年 7 月 16 日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	56,563	60,948
投資信託受益証券	15,944,572	14,052,677
流動資産合計	16,001,135	14,113,625
資産合計	16,001,135	14,113,625
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	26,400	12,100
未払受託者報酬	2,883	2,282
未払委託者報酬	17,241	13,594
その他未払費用	6,029	5,016
流動負債合計	52,553	32,992
負債合計	52,553	32,992
純資産の部		
元本等		
元本	12,000,000	11,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	3,948,582	3,080,633
(分配準備積立金)	27	17
元本等合計	15,948,582	14,080,633
純資産合計	15,948,582	14,080,633
負債純資産合計	16,001,135	14,113,625

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第 12 期		第 13 期	
	自 平成 29 年 7 月 17 日		自 平成 30 年 1 月 17 日	
	至 平成 30 年 1 月 16 日		至 平成 30 年 7 月 16 日	
営業収益				
受取配当金		62,040		42,610
有価証券売買等損益		1,334,006		△538,889
営業収益合計		1,396,046		△496,279
営業費用				
受託者報酬		2,883		2,282
委託者報酬		17,241		13,594
その他費用		16,846		14,644
営業費用合計		36,970		30,520
営業利益又は営業損失 (△)		1,359,076		△526,799
経常利益又は経常損失 (△)		1,359,076		△526,799
当期純利益又は当期純損失 (△)		1,359,076		△526,799
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		-		-
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		4,159,206		3,948,582
剰余金減少額又は欠損金増加額		1,543,300		329,050
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		1,543,300		329,050
分配金		26,400		12,100
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		3,948,582		3,080,633

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
--------------------	--

(貸借対照表に関する注記)

	第12期 [平成30年1月16日現在]	第13期 [平成30年7月16日現在]
1. 期首元本額	19,000,000円	12,000,000円
期中追加設定元本額	—円	—円
期中一部解約元本額	7,000,000円	1,000,000円
2. 受益権の総数	12,000口	11,000口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第12期 自平成29年7月17日 至平成30年1月16日	第13期 自平成30年1月17日 至平成30年7月16日																																																												
<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>62,040円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>1,357円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>63,397円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>36,970円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>26,427円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>26,400円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>27円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>12,000口</td> </tr> <tr> <td>100口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>220円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	62,040円	分配準備積立金額	B	1,357円	配当等収益合計額	C=A+B	63,397円	経費	D	36,970円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	26,427円	収益分配金金額	F	26,400円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	27円	当ファンドの期末残存口数	H	12,000口	100口当たり分配金額	I=F/H*100	220円	<p>1. その他費用 上場費用および商標使用料等を含んでおります。</p> <p>2. 分配金の計算過程</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>42,610円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>B</td> <td>27円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>42,637円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>30,520円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=C-D</td> <td>12,117円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>F</td> <td>12,100円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>17円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>H</td> <td>11,000口</td> </tr> <tr> <td>100口当たり分配金額</td> <td>I=F/H*100</td> <td>110円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	42,610円	分配準備積立金額	B	27円	配当等収益合計額	C=A+B	42,637円	経費	D	30,520円	当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	12,117円	収益分配金金額	F	12,100円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	17円	当ファンドの期末残存口数	H	11,000口	100口当たり分配金額	I=F/H*100	110円
項目																																																													
当期配当等収益額	A	62,040円																																																											
分配準備積立金額	B	1,357円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	63,397円																																																											
経費	D	36,970円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	26,427円																																																											
収益分配金金額	F	26,400円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	27円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	12,000口																																																											
100口当たり分配金額	I=F/H*100	220円																																																											
項目																																																													
当期配当等収益額	A	42,610円																																																											
分配準備積立金額	B	27円																																																											
配当等収益合計額	C=A+B	42,637円																																																											
経費	D	30,520円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=C-D	12,117円																																																											
収益分配金金額	F	12,100円																																																											
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	17円																																																											
当ファンドの期末残存口数	H	11,000口																																																											
100口当たり分配金額	I=F/H*100	110円																																																											

(金融商品に関する注記)

1 金融商品の状況に関する事項

区分	第12期 自平成29年7月17日 至平成30年1月16日	第13期 自平成30年1月17日 至平成30年7月16日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（昭和26年法律第198号）第2条第4項に定める証券投資信託であり、有価証券等の金融商品への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドは、投資信託受益証券に投資しております。当該投資対象は、価格変動リスク等の市場リスク、信用リスクおよび流動性リスクに晒されております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	ファンドのコンセプトに応じて、適切にコントロールするため、委託会社では、運用部門において、ファンドに含まれる各種投資リスクを常時把握しつつ、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲で運用を行っております。	同左

	また、運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っており、この結果は運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされます。	
--	---	--

2 金融商品の時価等に関する事項

区分	第12期 [平成30年1月16日現在]	第13期 [平成30年7月16日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券 同左</p> <p>(2) デリバティブ取引 同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第12期 [平成30年1月16日現在]	第13期 [平成30年7月16日現在]
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
投資信託受益証券	1,317,195	△537,393
合計	1,317,195	△537,393

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

	第12期 [平成30年1月16日現在]	第13期 [平成30年7月16日現在]
1口当たり純資産額	1,329.05円	1,280.06円
(100口当たり純資産額)	(132,905円)	(128,006円)